# 「第３回小畑川コミュニティコーナー」を開催しました！

平成22年1月30日（土）,31日（日）に,ニュータウン内の4学区・地域の住民の皆さんが気軽に集い,交流を深めるとともに,洛西の自然にふれていただくことをテーマとして,「第3回小畑川コミュニティコーナー」をラクセーヌ専門店内イベントプラザ等で開催しました。挿入

また,「“赤ちょうちん”」でのリユース食器の使用,「自然観察会」,「洛西の落ち葉と押し花を使ったしおりづくり」における自然,環境啓発など,環境にやさしい取組を実践しています。

（この事業は,「西京区環境パートナーシップ事業」補助金を活用しています

**自然観察会**　　1月30日　10:30，13:30出発

「小畑川の野鳥を観察しよう!」をテーマとして，板倉豊 京都精華大学教授を講師に迎え，観察会を実施しました。

当日はジョウビタキなど多くの野鳥に出会い，参加者の方々は望遠鏡から見える小畑川と野鳥の姿を堪能されていました。

**洛西の落ち葉と押し花を使ったしおりづくり**

1月30日，31日　10:00～16:00

カレンダーなどの台紙の上に，洛西の落ち葉，押し花を飾り，それをラミネート加工して世界に一つだけのしおりを作りました。

参加者の多くは親子連れで，仲良く協力しながら作られている姿が印象的でした。

**写真展**

1月30日，31日　10:00～17:00

「～秋から冬～　洛西ニュータウン」をテーマに写真を募集したところ，約30点近く集まり，イベントプラザにて写真展を開きました。

どの写真も，季節や臨場感を感じさせる迫力がありました。

**木工教室**

1月31日　10:00～16:00

京都すまいづくりセンター，たくみの会の協力のもと，親子で楽しめる木工教室を開きました。

子どもたちは工作に時間を忘れて熱中し，作成したものを嬉しそうに持ち帰っていました。

**大人の交流広場“赤ちょうちん”**　　1月30日　16:30～

30日夕刻からは，４学区・地域自治連合会による屋台が登場。手作りの「赤ちょうちん」を目印に，たくさんの皆さんが集まり，青竹の酒器を片手に，おでん，焼き鳥，焼きそば，大根田楽を肴にして，ほろ酔い気分で話がはずむ，にぎやかで楽しい宵となりました。

門川大作京都市長も飛び入り参加され，皆さんとのふれあいのひとときを過ごされました。多くの方から「次はいつ？」との声がかかるほどの盛況でした。準備から運営までご協力いただいた地域の皆様，ありがとうございました。

門川市長も参加!!

**発行**

平成22年3月
洛西ニュータウン創生推進委員会
（事務局：京都市西京区役所洛西支所まちづくり推進課）
住所：〒610-1143　京都市西京区大原野東境谷町2-1-2
電話：075－332－9318　　FAX：075－332－8187

京都市印刷物　第214653号



平成22年3月発行

# 洛西ニュータウン創生推進ニュース　vol.20


## 「第13回洛西ニュータウン創生推進委員会」を開催！
### ～次年度の委員会取組方針や部会委員の公募などを議論～

「第13回洛西ニュータウン創生推進委員会」が,2月9日（火）に洛西総合庁舎で開催されました。

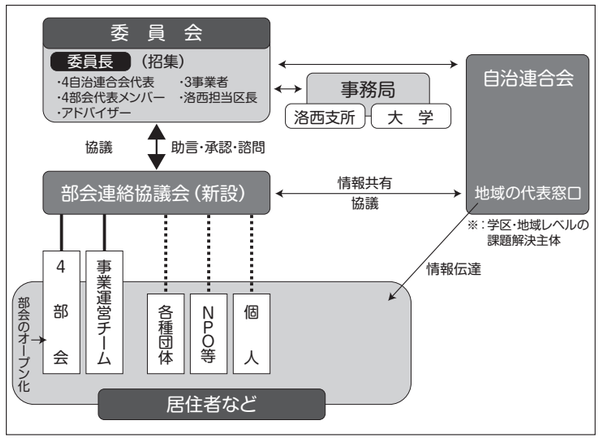
今回の委員会は,平成22年度の委員会取組方針・組織体制案【下図参照】を中心に議論を行い,住民ニーズを把握するための部会活動のオープン化,自治連合会等の地域団体との情報共有と連携を促進する体制づくり,3事業（「小畑川コミュニティ」,「地域活動団体交流」,「まちづくり勉強会」）のさらなる推進などが重点取組として確認されました。

第13回委員会の様子

続いて,3月13日（土）に開催する「洛西ニュータウン創生フォーラム」について,「洛西ニュータウンにおける買い物事情（仮題）」をテーマとする「まちづくりトーク」に関する色々なアイディアが提案されました。【2,3ページ参照】。

また,平成22年度の部会委員を,広く住民の皆さんから募集し,新たな発想で魅力あふれるまちづくりを目指して,ともに参画していただくことを決定しました【4.5ページ参照】。

さらに,1月30日（土）,31日（日）に開催した「第3回小畑川コミュニティコーナー」の報告【8ページ参照】や2月7日（日）に開催した「第1回洛西ニュータウン　ボランティア・市民活動団体交流会」の報告【6,7ページ参照】,委員会広報用パンフレットの作成（次年度予定）などの議論が行われました。




平成22年度委員会組織体制図（案）

**◆ 第13回委員会で出された主な意見**

- 「自然観察会」や「写真展」において蓄積されたデータをストックして,自然環境（資源）マップの作成やパンフレットに掲載するなど,有効に活用すべき。
- 今回の交流会は,主に,人を支援する活動団体に集まっていただいた。洛西ニュータウンには自然環境関連の団体も多い。多様な団体に参加してもらえるような会へと発展してほしい。
- 来年度以降は,各部会が住民との接点を広げ,練った企画を「部会連絡協議会」を中心に,優先順位や取組主体をはじめとする具体的議論を行い,行動に移すことが必要。
- まちづくりの実行にあたっては,委員会だけではなく,いろいろな地域活動団体と連携・協働することが必要で,委員会発足後の3年間は連携の輪づくりを重点に置いてきた。その点において,今回の交流会が開催できたことは大きな成果である。
- 委員会が住民主体のまちづくり体制へと発展するためには,活動拠点の確保が不可欠。住民が自由に集まり議論できる場であり,活動情報の集約の場でもある。サブセンター活用の議論と連動して,戦略的に検討すべき。

| 回覧 | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|